

点	年	組	ばん	名まえ
---	---	---	----	-----

一 ——— のかん字の読み方を () に
ひらがなで書きましょう。
《二点×十四問》

- ① 交 (こう) たいで 水やりをする。
- ② 数が 少 (すく) ない。
- ③ 電話 (でんわ) を かける。
- ④ 雪 (ゆき) あそびは 楽 (たの) しい。
- ⑤ とんぼの 羽 (はね) を かんさつする。
- ⑥ 弓 (ゆみ) で 矢 (や) を とばす。
- ⑦ きれいな声で 歌 (うた) う。
- ⑧ 糸を 切 (き) てる。
- ⑨ 時間 (じかん) を まもる。
- ⑩ 赤しんじょうで 止 (と) まる。
- ⑪ 何 (なに) かに にている。
- ⑫ せまい 道 (みち) を あるく。

二 つぎの () に、正しい読み方を
書きましょう。
《二点×六問》

- ① 子犬が 生 (う) まれる。
- ② 草が 生 (は) える。
- ③ へやに 入 (はい) る。
- ④ ふくろに 入 (い) れる。
- ⑤ みんなで、 合 (がっ) しょうを する。
- ⑥ 手を 合 (あ) わせる。

三 □ の中に、なかまになるかん字を
書きましょう。
《二点×四問》

②	①
秋 (あき)	心 (こころ)
冬 (ふゆ)	体 (からだ)

年	組	ばん	名まえ
---	---	----	-----

四 □ の中に、かん字を書きましょう。
《二点×二十問》

⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
親 (しん) 友 (ゆう)	東 (とう) 京 (きょう)	寺 (てら) に 池 (いけ)	毎 (まい) 日 (にち)	広 (ひろ) い 野 (の) 原 (はら)	理 (り) 科 (か) の ノート	自 (じ) 分 (ぶん) で 作 (つく) る。	市 (いち) 場 (ば)
と 雲 (くも) を 見る。	へ いく。	が ある。	あ る く。	あ る	の ノート	つ く	ば

五 はんたいのいみになるように、つぎの
かん字を書きましょう。
《二点×六問》

④	③	②	①	⑫	⑪	⑩	⑨
来 (く) 前 (まへ)	近 (ちか) い	古 (ふる) い	新 (あたら) しい	走 (はし) って 帰 (かえ) る。	つなを 引 (ひ) く。	肉 (にく) を 食 (た) べる。	米 (こめ) と 小 (こ) 麦 (むぎ)
↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓	↑ ↓
行 (い) く	後 (うし) ろ	と お い	あたら しい	あたら しい	あたら しい	あたら しい	あたら しい